

6月 外国人観光客の売上高・来店動向

平成22年7月13日

- 調査対象店舗 : 20社40店舗 (外国人観光客誘致部会委員店)
- 調査品目 : 主力商品である化粧品・食品等は、免税手続き対象外のため含まれません。

1.免税手続きベースの売上および対前年比

- ◆ 売上高総額 (40店舗) …… 13億1,037万円余 (1店舗平均: 約3,276万円)
- ◆ 売上高前年比 (40店舗) …… 199.1%

2.免税手続きベースの購買客数および対前年比

- ◆ 購買客数合計 (40店舗) …… 22,419人 (1店舗平均: 560人)
- ◆ 購買客数前年比 (40店舗) …… 190.9%

3.免税手続き一人当たりの購買単価

- ◆ 一人当たりの購買単価 (40店舗) …… 58,449円
- ◆ 一人当たりの購買単価前年比 (40店舗) …… 104.3%

4.外国人観光客に人気のあった商品

- 第1位 婦人服 (バーバリーブルーレーベル、アニエスb、コート、ツモリチサト)
- 第2位 化粧品 (資生堂、SKII、アルピオン、ファンケル)
- 第3位 ハイエンドブランド (カルティエ、グッチ、シャネル、ルイ・ヴィトン、プラダ)
- 第4位 婦人服飾雑貨 (化粧ポーチ、ハンカチ、靴、革小物、日傘、ストール)
- 第5位 紳士服・雑貨 (バーバリーブラックレーベル、ポールスミス、ネクタイ、ワイシャツ、肌着)

- ◆ 今月は、夏物衣料をお買い上げのお客様が多く、1点物の高額品をお求めになるお客様は、前年の月と比較して少なかった。(新宿)
婦人服を中心に、催事場でのセール品の購入が目立っている。(上野)
- ◆ 宝飾品売場で大口の指輪のお買い上げがあった。婦人服は端境期という理由もあり、今月は売上を落とした。(名古屋)
- ◆ 今月もエルメスのバッグのまとめ買いが多くみられた。(大阪)

5.免税手続きカウンターの来店国別順位

第1位： 中国本土 第2位： 台湾 第3位： 香港 第4位： 韓国

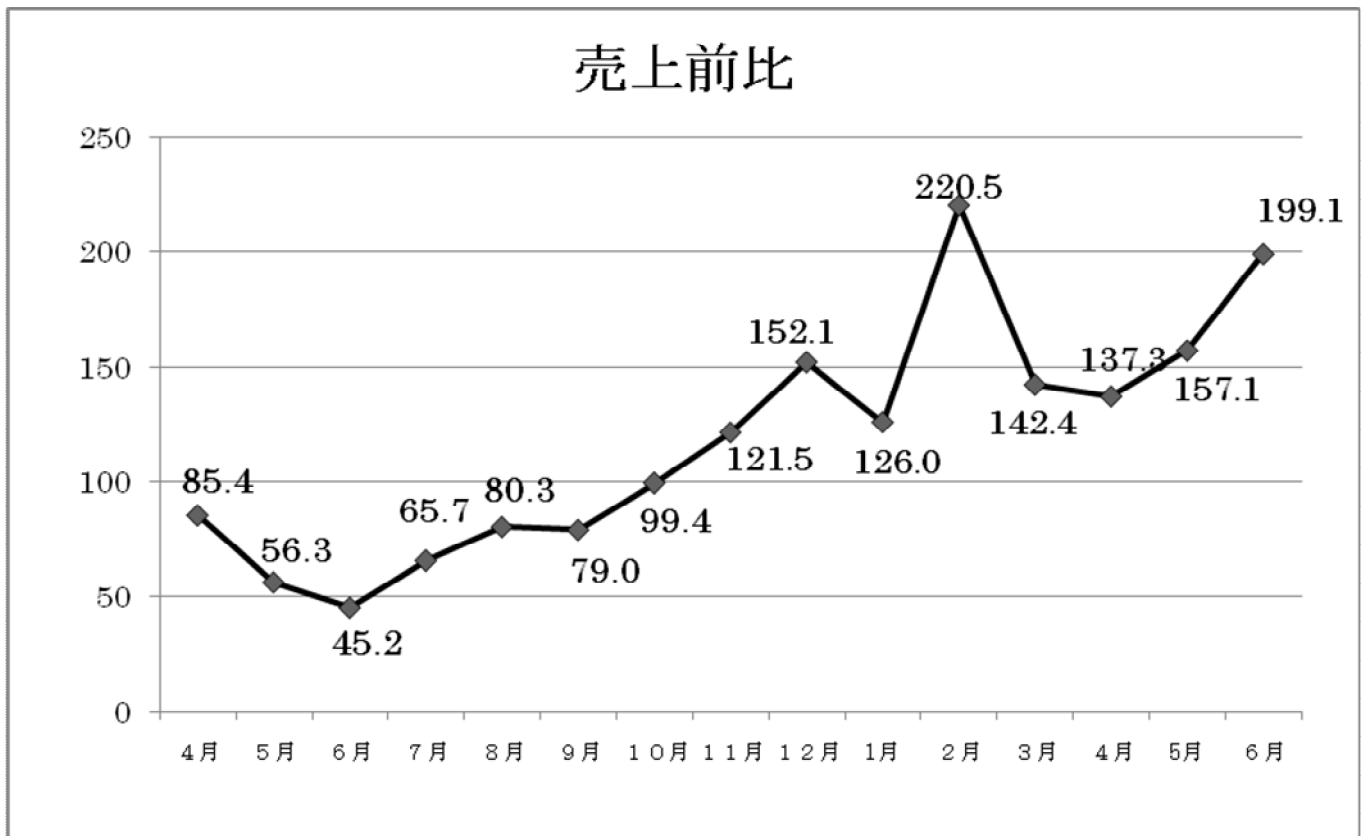
第5位： シンガポール 第6位： マレーシア 第7位： アメリカ

6. 今月の概況他

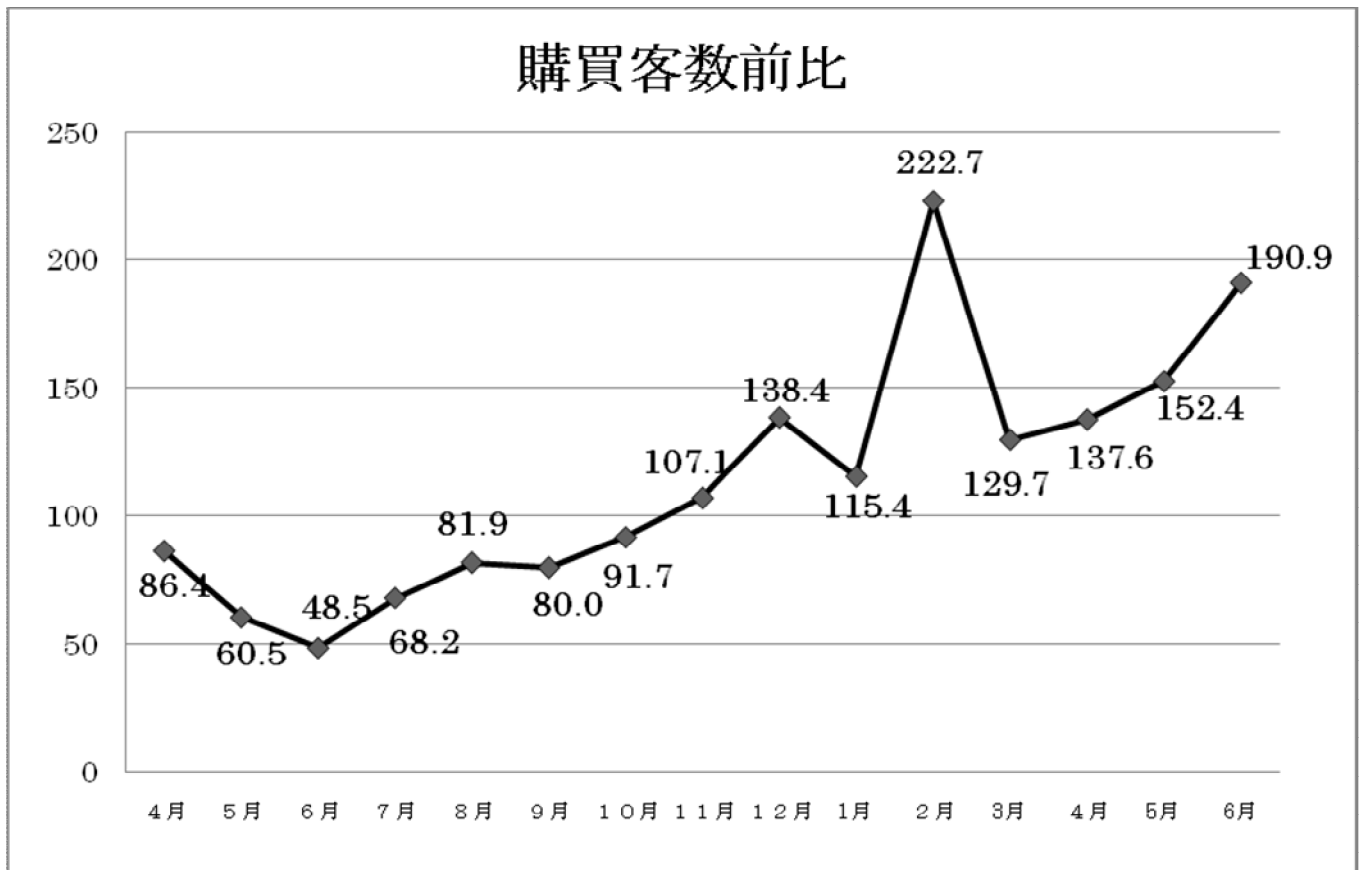
- ◆ 売上、客数とも昨年比を大きく上回り、40店舗中38店舗がプラスに転じた。
昨年は新型インフルエンザの影響で訪日観光客が大きく落ち込んでいたためであるが、アジア(特に中国)からのお客様の数は、日々着実に伸びている。
- ◆ 受付案内で問い合わせが多い内容は、アニエスb、バーバリーブルーレーベル等のブランドに関するものである。次に多いのは、荷物預かり所に関するお問い合わせである。(札幌)
今月は、中国本土の伸びが落ち着き、台湾が復調してきた。(札幌)
- ◆ 中国本土からのお客様に限って分析すると、免税件数845%、免税売上998%で、銀聯取扱高は、487%となった。(銀座)
- ◆ 6/15から6/17の端午節に、中国、台湾、香港からのお客様が多かったが、最終週には、7月からのクリアランスを控えてか、客数、購買額とも伸び率は低めに推移した。(新宿)
- ◆ 中国・韓国のお客様が急伸しており、今月は倍増した。(渋谷)

以上

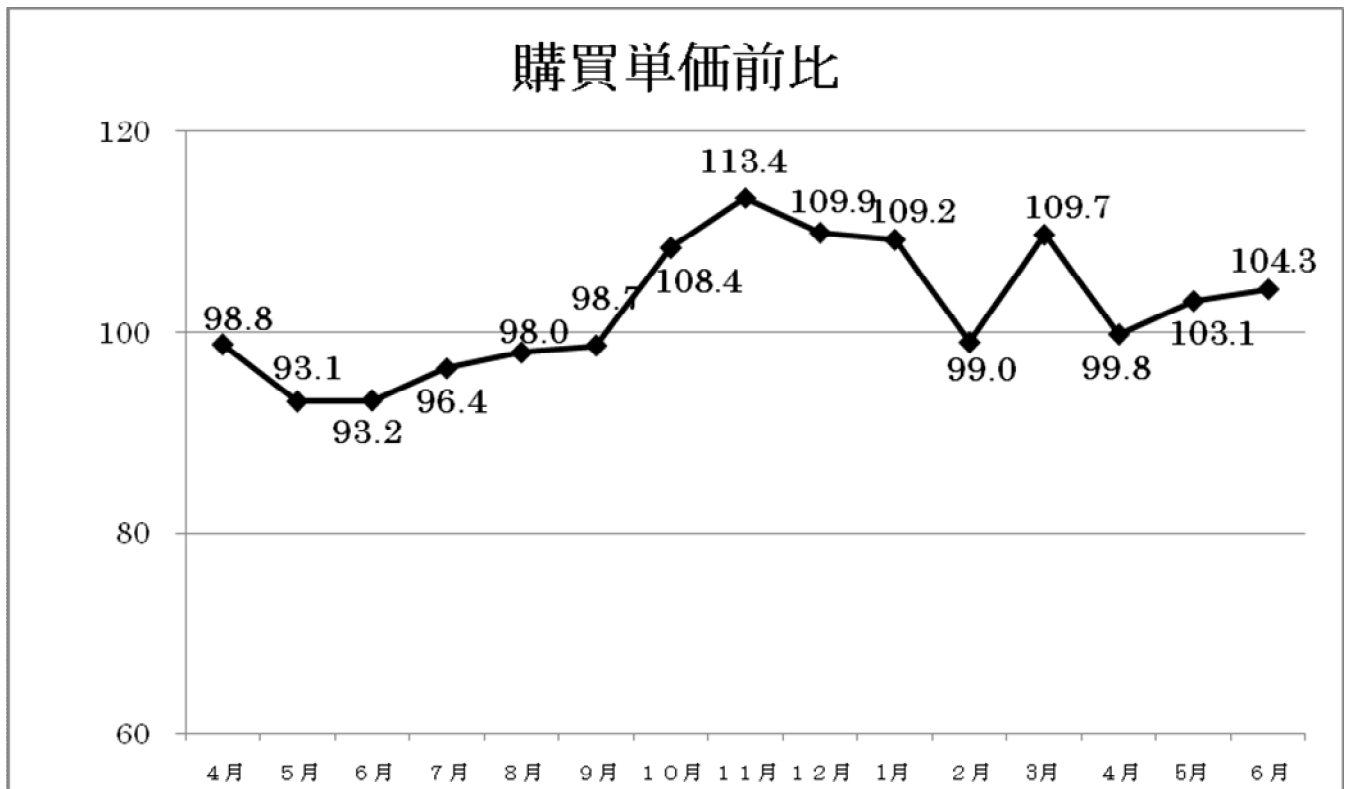
売上前年比 (%)



購買客数前年比 (%)



購買単価前年比 (%)



【お問合せ先】

日本百貨店協会・外国人観光客誘致事業担当（無断転載を禁じます）

TEL：03-3272-1666